

として、骨粗鬆症検診も実施しています。

また、がん検診の必要性について、予防接種の際にパンフレットなどを配布し、がんの早期発見や臨期治療の必要性を呼びかけています。

なお、9月のがん征圧月間に向け、広報や検診案内等を通じて情報提供に努めたいと考えています。

子宮頸がんでは20歳から40歳まで、乳がんでは40歳から60歳まで、それぞれ5歳刻みで健診の無料化が打ち出されている。

本市の取り組みは、

答 現在国では、市町村が実施するがん検診において、特定年齢の女性を対象に、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳とがん検診無料カード券を配布し、受診の促進を目的として、補助事業を行うこととしています。

この事業の実施スケジュールは、今年6月30日を基準日としていますので、国の方の実施要綱に基づき、対象者の調査、検診、手帳やクーポン券の作成、検診医療機関の選定などの準備を進めています。

**問** 国民健康保険の運営について、現在かなり厳しい状況であると思う。その状況と今後の計画は。

**答** 国民健康保険の現状について、1人当たりの保険料は、平成18年度と比較して、約10%増加している一方、歳入の確保は、厳しさを増している状況です。

平成20年度の後期高齢者医療制度発足に伴い、国保の被保険者数が約4,600人減少したことにより、赤字決算となることも心配していましたが、かろうじて黒字を確保することができたところです。

しかし、実質単年度収支では、毎年度赤字状態が続いているます。

このため、前年度の剰余金である繰越金や財政調整基金を充てることで保険税の引き上げを抑えることができましたが、平成21年度は、前年度からの繰越金が期待できず、財政調整基金も底をついてしまったため、国保運営への支障が懸念される財政状況となっています。

また、約8億円の保険料の滞納があり、この解消のため、今後は原因分析を行ないながら、法令の規定に基づく適切な対応で臨みたいと考えています。

今後の国保運営については、平成22年度からの保険税の引き上げを含めた国保財政健全化計画策定し、国保運営の安定化に努めていきます。

問 市道123号線東側  
松通り整備事業について、昨年3月の実施計画では事業実施が平成21年度からなっていたが、今年3月での実施計画では平成22年度からとなっている。その理由は。

答 黒松通り整備事業については、新市主要事業の一つとして位置づけられ、またの実施計画において、県の事業である飯岡橋九十九里自転車道整備事業と併せて、平成21年度から実施の予定でしたが、事業実施に当たっては、保安林解除の承認が得られず。

また、山桑地先の候補地について、山桑メモリヤルホールの隣接地となつてあります。

財源は借金によると思  
ますが、この借金の解消の  
ために消費税が使われるお  
らば、消費税の引き上げを  
やむを得ないと考えます。  
◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇  
を急ぐよう指示をしてきましたが、今までは保安林休除の協議さえ難しい状況にありました。  
しかし、新知事となつた現  
在は、保安林の解除は、  
林にも光明があることまで  
が差してきただけでなく、  
事業の推進が図れるよう努  
力していきます。



▲事業の開始が待たれる黒松通り（新堀近地先）

健

庚

問 女性の健康支援対策について、健康バスポート発行や健康実態調査、がん予防と連携した取り組みなどが各地で実施されているが、本市の取り組みは。

答 本市では、女性特有のがん検診として、子宮がん検診と乳がん検診を実施しています。

健康増進法に基づくこれらの検診については、健康手帳を交付し、各自の健康管理に役立てていただいています。

このクーポン券の配布は、子宮頸がんの場合、昨年4月2日から今年4月2日までに20歳、30歳、35歳、40歳になつた方1,054人を対象に見込んでおり、また、乳がんの場合、同時に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になつた方1,378人を対象に見込んでいます。

ヒブワクチンは細菌性皰膜炎の予防には非常に効果的ですが、現在ワクチンの供給が十分でないため、希望者すべてが接種できる状況にありません。

また、ヒブワクチンは予防接種法に基づかない任意の接種種に位置付けられており、公費助成については、今後のワクチンの供給の状況と国の情勢等を見ながら、研究していく予定です。

問　広域ごみ処理施設を検討中であるが、本市・鉢木・市旭市の3市中、施設が一番古いのが本市の環境衛生組合である。

ら、施設の延命化に努めて  
いるところです。

して立案された経過説明と  
その詳細な場所は、  
答　施設建設における必要  
要件である面積の確保、主  
要道路とのアクセス、学校  
等公共施設を避けるなどの  
理由から、東・小笠地先と  
桑地先を選定したところが  
す。

問 消費税の引き上げ、問題に明瞭な方針等を決定された骨太方針等を明らかにしてほしい。

答 以前もこの問題について、社会保障の充実のためなら、消費税の引き上げもやむを得ないと考えていました。その考え方は今でも同じです。

今、100年に一度とう經濟危機に見舞われ、この経済危機の解消のため、国は大型補正予算を投入す。

環

堵

いて、用地選定を早期に進展するということになつてゐる。

政治姿勢